

呼吸ケアチーム

【活動目的】

当院の呼吸リハビリテーション（以下、呼吸リハビリ）は平成4年より、内科医師、看護師が肺気腫、肺結核後遺症患者を対象に排痰、呼吸法などを中心にスタートしました。

その後、加齢に伴い肺機能が低下した高齢の COPD（肺気腫などの慢性閉塞性肺疾患）患者が増加したことで呼吸リハビリの需要が増え、平成22年4月より呼吸リハビリ専門医療チームを創設し、包括的呼吸リハビリ実施に向け本格的に活動を開始しました。それから7年経過し、現在は呼吸ケアチームとして入院、外来診療で年間約100人近くの呼吸リハビリを行っています。

対象疾患は肺気腫などの慢性閉塞性肺疾患、肺結核後遺症、間質性肺炎などが中心で、安定期のリハビリだけにとどまらず、近年は肺炎による慢性呼吸不全急性増悪や間質性肺炎急性増悪などの急性期からチームで介入し、各患者、各疾患に合わせたオーダーメイドのリハビリを提供しています。

【構成メンバー】

チームの構成メンバーは

医師2名、理学療法士2名、作業療法士1名、看護師5名（病棟4名、外来1名）、管理栄養士1名、薬剤師1名、臨床工学士1名、臨床検査技師1名、医療ソーシャルワーカー1名で、患者を各々の専門分野でサポートすべく体制を整えています。

【活動報告】

平成27年度の呼吸リハビリ患者は約90名（うちリピーター患者が約50名）でした。安定期に予定入院で行う呼吸リハビリ患者は20例、その他は肺炎や間質性肺炎急性増悪などによる急性期から関与した症例でした。

平成28年度（H28.4-H29.3）呼吸リハビリの内訳

呼吸器内科からのリハビリ処方総数：256件（前年度：190件）

➤ 入院リハビリ：220件（前年度：162件）

入院リハビリ内訳

✓ 呼吸リハビリ：82件（前年度：138件）

※呼吸リハビリ・・・リハビリ目的の入院患者（急性増悪患者含む）

✓ その他リハビリ：138件（前年度：71件）

※その他・・・肺炎など治療目的入院患者に対するリハビリ実施者

➤ 外来リハビリ：36件（前年度：28件）

このように当チームは、かかりつけ患者を定期的にサポートするだけでなく、肺炎後など全身状態が不良となりADLが低下した患者のリハビリも急性期から安定期まで通じて行っています。

主な活動内容としては、

- ①患者教育や交流の場として定期的に行っている「生き息さわやかに過ごす会」（慢性閉塞性肺疾患患者対象の研修会）や、患者指導ツール（吸入指導ツール、嚥下訓練食の調理法ビデオ）の作成
- ②院内スタッフ育成の一環として、呼吸療法認定士育成プロジェクト（勉強会開催）や各種勉強会（吸入指導勉強会、栄養学・口腔ケア講習会）の開催
- ③呼吸ケアリハビリテーション学会支部会での発表
- ④新たな取り組みとして活動量計を用いた研究

患者対象とした呼吸リハビリを行いながら、患者を取り巻くスタッフのレベルアップを行い、より良い医療・看護が提供できるよう健闘中です。今後、高齢化がさらに進み慢性肺疾患患者のリハビリ需要は増大することが予測されるため、地域に根差した在宅呼吸ケアの中継点として当院がその役割を果たしていければと考えており、また今後は新規患者獲得にむけて院外への働きかけも積極的に行っていきたいと考えています。